

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月25日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		国で定められた基準以上のスペースを確保しています。 個室もあり、特性に応じた療育をおこなっています。	
	2 職員の配置数は適切である	7		国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		トイレには、児童に分かりやすいよう、排泄・手洗いの順番など視覚に分かりやすい手順を示しています。 バリアフリーになっており、利用者の方の特性に応じた環境設定をおこなっています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。 また月2回リフレクション会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	会議に参加できない場合には、口頭での引継ぎや議事録の見直しをおこない、改善に努めてまいります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげています。	保護者様の意向を確認し、業務改善に努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	コロナ禍という事もあり、事業所内の研修にて積極的に研修をおこなっています。	外部の研修やオンライン研修などの機会の確保をおこないます。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっています。 また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		標準化されたアセスメントシートを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		児童一人ひとりの特性や、発達段階に応じた活動プログラムを職員で話し合い立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		集団活動や個別活動・季節ごとのイベントなど、固定化しないよう工夫しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		休日・長期休暇時には、イベント活動等も取り入れきめ細やかな設定をおこなっています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別での発音・発語トレーニングや手先のトレーニング、集団でのソーシャルスキルトレーニングなど、児童の発達状況に合わせて計画の作成をおこなっています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		日々の引継ぎ会の中で、気になることなどを話し合い、支援方法の見直しなどをおこなっています。また、送迎や担当職員の確認などもおこなっています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	送迎に出る職員や勤務体制上、職員全体での打ち合わせは難しいですが、翌日の引継ぎ会で振り返りをおこなっています。	当日での引継ぎが難しい場合は、翌日に必ずおこなうように徹底してまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		個人経過記録の記入をおこなうとともに、引継ぎ会にて話し合い、情報共有をおこなっています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングを行い、保護者様の意向を踏まえた計画を作成しています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7		児童発達支援ガイドラインに基づき、保護者様の意向も踏まえた項目を選択しています。		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		事前に職員で話し合い、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		送迎時に、児童の様子や行事予定・送迎時間など確認をおこなっています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		担当者会に参加し、保育所等での様子や、事業所での様子をお伝えし、情報共有をおこなっています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		担当者会に参加し、事業所での様子をお伝えしています。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		児童が併用している他の事業所との連携を図り、情報共有をおこなっています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	コロナ禍という事もあり、交流の機会を設定することができませんでした。	コロナが収束しましたら、保護者様のご意見を伺いながら検討してまいります。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	7		毎年、定期的におこなわれている自立支援協議会子ども部会に必ず参加しております。	自立支援会議には主に管理者・児童発達支援管理責任者が参加していますが、他の職員も参加することができるよう配慮してまいります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡帳にてその日の様子をお伝えしたり、送迎時や家庭連携を行い共通理解を図っています。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めています。 また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	ペアレントトレーニングの機会を検討してまいります。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に、保護者様に分かりやすいよう説明をおこなっています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		送迎時にお話を伺ったり、家庭連携をおこない保護者様の悩みや困りごとを伺い、アドバイスを行っています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	コロナ禍の為、保護者会を開催することができませんでした。	コロナが収束しましたら、保護者様のご意見を伺いながら検討してまいります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		玄関に苦情箱を設置しております。また、苦情受付窓口を設置し、速やかに対応できるようにしています。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		公式Webサイトにて事業所での様子をお伝えしたり、月毎の連絡帳カレンダーにて、お伝えしています。	
	35 個人情報に十分注意している	7		個人情報に関しては法令を遵守し、細心の注意を払って使用や取り扱い保管・処理に注意しています。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		児童の特性や発達状況に合わせた分かりやすい情報伝達を心がけています。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	コロナ禍という事もあり、地域の方々との交流はできませんでした。	コロナが収束しましたら、保護者様のご意見を伺いながら地域の方々に参加していただける企画を検討してまいります。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしています。 また、定期的に児童と共に避難訓練を実施しております。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加して定期的に実施しております。連絡帳のカレンダーで、前月に実施予定日をお知らせし、訓練の様子は次の月の連絡帳カレンダーを通して紹介しております。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	虐待防止責任者を選び、事業所での研修に参加し、職員全体で認識を深めています。	今後は、外部への研修に参加することができるよう、検討してまいります。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		原則として身体拘束は禁止となっています。やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ保護者様に十分な説明を行い、個別支援計画に記載の上、保護者様の同意をいただいております。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		保護者様との情報共有をおこない、指示書のある児童については、一覧表の作成をおこない、職員に周知しています。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティングを再発防止に努めています。		